

あたたかい言葉のもつ力

ねらい： 思いやりある言葉かけは、勇気を与えたり、曇っていた心を晴らしてくれたり、自信を与えてくれたり、元気を与えてくれます。思いやりの心は、表現しないと伝わりません。思いやりのある言葉を豊かにし、積極的に使おうとする学級風土を育みます。

所要時間： 50分程度

準備物： ワークシート -1

すすめ方

時間	内容	留意点
導入	あたたかい言葉のエピソードについて ・指導者の体験を語る。	<ul style="list-style-type: none"> ・上手に話を聞いてもらう演習で、聞き手からうれしい言葉を伝えられて、元気がでた様子を伝える。 ・指導者が自己開示をすることで、主活動の質が高まり、教師と子どもの感情交流がうまれる。
主活動	<p>「思い出してみよう！うれしかった、あのときのあの言葉」</p> <p>どのような時に、どのような声かけをしてもらったのか、ワークシート -1 に記入する。</p> <p>グループ（4人程度）で聞きあう。 ・順番に発表 ・感じたこと、感想をまとめる</p> <p>全体で、交流する。 ・グループで、発表したいものを選び、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりとした時間をもつためにBGMを流すのもよい。 ・単に発表し合うのではなく、「聞きあう」という視点を指示することで、他者の発表に関心をもつてうなずき（非言語的メッセージ）ながら、聞くこと（傾聴）ができるようにする。共感的な人間関係が育まれる。
まとめ	・感想を書く。発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉は、言霊（ことだま）とも言う。言葉には人を元気にしたり、癒したりする力がある。言葉のよい面に焦点をあて、良質なコミュニケーションは、人との関係をあたたかく元気づける（エンパワメント）ことに気づかせたい。

事後対応

- ・ワークシートを教室に掲示するなど、温かい学級環境をつくってください。

ワークシート - 1

「思い出してみよう！うれしかった、あのときのあの言葉」

あなたが、誰かに言われて、とてもうれしかった時のことを思い出してみましょう。
いつごろ、どのような時に、何て言われましたか？そのとき、あなたはどのような気持ちになりましたか。

こんなこともあったなあ・・・

そうそう、こんなことも・・・